

# 花見は？



## 花見の3大要素 サクラと人の群れ、飲食

国際日本文化研究センターの白幡洋三郎名誉教授の研究によると、花見に重要な要素は群衆、飲食、群衆。たくさんサクラが咲く名所に大勢が集まり、宴会をするのが「花見」。ただ花をめぐるだけでなく、仲間と酒をくみ交わして楽しく観賞するのは世界中で日本だけだそう。ブラジルのサンパウロでも、花の下に集まることはあるようだ。日本人移民の子孫である日系人が多いため、遠いふるさとの習慣を伝えているんだろう。



花もたんごも 満開の花の下で宴会するのが花見。左上はテバードで売られているせいじくの花見弁当

## 名所がうつす物語

**名所 1**  
醍醐寺 (京都市)

### 秀吉が大豪遊の花見

京都にある醍醐寺は、戦国武将の豊臣秀吉が天下をとった後に花見を大々的に開いたことで有名。1598年、夫人や女中たちを勢ぞろいさせた史上最大規模の花見は、あらかじめ境内の建物を修理したり、関西一円の名所のサクラ700本を移植したりとけた違いだった。



さすが宴会好きの秀吉ですね。当時は権力者が勢いを見せつけるために花見を開いてました



毎年4月、豊臣秀吉にふんした一行の花見行列が催される。京都市の醍醐寺で2012年4月

**名所 3** ポトマック河畔 (アメリカ ワシントン)

### 100年前の花木交流

アメリカにもサクラの名所はある。1912年に友好のあかしとして、東京から3,000本が贈られた。ソメイヨシノが多いが、ヤエザクラやシダレザクラなどさまざまな品種が移植された。花盛りとなる4月のサクラ祭りには、アメリカ全土から観光客が訪れる。



お返しにアメリカから1915年にハナミズキが贈られた。今では並木として日本で人気だね

ポトマック川のほとりのサクラ並木奥に見えるのは第3代アメリカ大統領、ジェファーソンの記念館＝アメリカのワシントンで1999年4月



**名所 2**  
吉野山 (奈良県)

### 信仰の対象として

歴史ある名所といえば吉野山。シロヤマザクラなど200種3万本もあり、山ごと花におおわれる光景は圧巻。1,300年前、修験道を開いた役行者がサクラの木に神さまを彫り、ご神木とした。その後、信仰した人々がサクラを植えて名所ができた。

★修験道……山にこもって修行をし悟りをえる山岳信仰と仏教が結びついた日本独自の宗教。



吉野山は戦争でサクラの世話が荒らさかになる危機があったぞ。それを復活させようと、実を集め、苗を育てたのは、地元の小学校の子どもたちだったんだって。すごいニヤ



一面、サクラでおおわれた吉野山＝奈良県吉野町で2006年4月

**名所 4** 陸前高田 (岩手県)

### 「悲劇を繰り返さない」

### 未来をたくす

2011年3月11日に起きた東日本大震災で津波の被害にあった陸前高田市では、津波到達地点を結ぶ170°をサクラで埋め尽くそうというプロジェクト「桜ライン311」が進み、すでに770本が植樹されている。大きな並木は後世に津波の恐ろしさを伝え、減災につなげる名所になるだろう。



最初に植えられた浄土寺の3本。昨年も花をつけた。奥に広がる更地が津波の被害を受けた土地＝岩手県陸前高田市で2014年4月16日、「桜ライン311」提供

東北各地では新たに植えられた木だけでなく、震災前から変わらず花をつけるサクラの姿が励みになっているの。今年もさまざまな思いをたくされた花が咲くだろうね

